



わが町の安全・安心

コロナ禍に自然災害、不安や心配が絶えません。各町会の最近の取り組みを紹介します。

宮田東町会

今年が目玉は、3年越しの防犯灯設置です。閉店したツタヤは24時間営業のため、駐車場の照明が防犯灯でした。しかし、跡地のケーズデンキは時間営業で、なおかつ町会のメインストリートが店舗の影となり、夜道が暗くなりました。

そこで9月、市の防犯灯設置補助金を活用し、4基の防犯灯を設置しました。住民の不安が解消できました。

(町会長 上條俊樹)

双葉西町会

近年、豪雨などによる災害が毎年のように起こります。そのため、町会の防災倉庫を新たに設置しました。これまでの倉庫より大きく、備蓄もたくさんできるようになり、災害に対する備えも充実しました。

(藤森俊男)



南松本一丁目町会

わが町会は、「緊急連絡体制任務及び班員名簿」を作成し、準備態勢を整えています。9月から、中道で「防災のほ

双葉南町会

町会では、今年、テント2張を購入しました。先日の一斉清掃の後、役員とブロック長協力のもと、組み立ててみました。災害時やイベントに



宮田中町会

コロナ禍で防災訓練は自粛し、文化祭に防災コーナーを設けました。

(石川博子)



(児嶋正武)

「旗」が注意喚起しています。災害時は公助より自助・共助という教訓があります。まずは、住民がハザードマップなどで町内の災害リスクを把握し、対処法を常に継承し更新していく努力が大事です。

南松本二丁目町会

当町会は、消火用ホース収納箱を5ヶ所に新設しました。昨年から感染症対策で防災訓練は中止しましたが、計画していた訓練は次の通りです。

◎防災 一 通報要領

二 消火器取扱

三 心肺蘇生法

四 AED使用法

◎防犯 警察官による特殊詐欺の講演や質疑応答

(樋口寿子)

双葉町会



防災訓練 11/6、207名参加

(白澤幸男)

宮田西町会

町会には屋外常設の消火器が設置されています。万が一の時、誰でも使用できるように、区域を分けて玄関先に置かせていただいています。あとは実際に使えるよう、住民参加による防災訓練の実施が課題です。

(近藤晴彦)



芳野町会

避難受入れ態勢に努め、今年度は防災倉庫を購入、来年度は備品を拡充します。

7月に行った安否確認訓練では、課題も見えました。高齢者率が高い町会ですが、正確な人員把握ができていないブロックがあること、災害時の初動体制が不十分であることとです。

足で稼ぐ聞き取り調査や、初動要領の策定に努めます。

(防災部長 丸山昌人)

松本市民 の 体育大会



10月10日、「コロナ感染レベル2」となり、2年ぶりに市民体育大会が開催されました。選手の皆様は、暑い日差しの中、頑張ってくれました。

毎回のことですが、各種目とも選手集めに苦労しています。今年は、優勝歴のある卓球も参加できず、野球とマレットゴルフが参加しました。

結果は次の通りです。

○野球(対神林) 初戦敗退

○マレットゴルフ

男子 4位/22チーム

女子 16位/17チーム



勝負よりも交流です。マレットゴルフは、密にならず青空の下、楽しめるスポーツ



です。現在、地区には、マレットゴルフ会があり、毎月4〜5回、交流を楽しんでいます。その積み重ねが、上位入賞につながりました。移動の手段のない方も、どうぞ私どもにご連絡ください。一緒に楽しみましょう。

なお、市長杯(10月31日)では準優勝しました。

選手の皆様、大変ご苦労様でした。

(松南地区スポーツ協会
理事長 岡田隆二)

ガチャさんが やってきました!

9月27日、福祉ひろば主催「スマイル山雅健康教室」が行われました。

片山真人さんとスタッフさんの指導で、ストレッチャや脳トレ体操がノリノリで展開され、参加者16名は、満面の笑顔で、疲れを忘れたひと時でした。ハートをつかむ指導力は、さすがです。



J2残留を志す「片山トーク」も盛り上がり、若手の厳しい迫り上げや、「走る山雅」の再現など期待が語られました。選手の裏話

も、ちよっぴり…。

地域との「ワンソウル」が、山雅の特色です。練習見学、街なかでの選手への声掛けなども期待され、オープンなチームの姿勢にも共感…。瀬戸際を支えるのは、我々です。応援しましょう。

(白澤 幸男)

リサイクル本頒布会

9月18・19日、「なんなんフェスタ」が、コロナ禍で今年も開催されない中、単独で開催されました。図書館の古本を愛好家にお配りしたいという図書館の思いを、町内公民館長会が後押しした企画です。

マスク、消毒、換気などコロナ対策は当然ながら、「30分、20人、20冊、一方通行」の入替え入場規制も行いました。南部体育館には、開場前から整理券を求める列ができる人気でしたが、皆さん協力的で、スムーズに進行しました。



2日間で180人の入場。単独開催の影響もあってか、入場規制も結果的には初日午前中だけで対応できました。高齢者のための高台配置、子供向け図書の実用など課題はありますが、こんな時だからこそ大切にしたい企画です。

(百瀬 壽)

「ガラケー問題」と スマホ教室

皆さんはご存じですか。ガラケーが利用している電波回線が、概ね5年後には使用できなくなります。デジタル機器に不安の方には、大問題です。

そうした背景もあり、国や松本市では、デジタル機器の講習会を進めています。

松南地区公民館でも、10月から業者さんによる「シニアや初心者のためのスマホ教室」を開講しました。スマホを借りることもでき、実際の操作を体験します。定員も6人と少人数ですので、丁寧に学べ、参加者に好評です。今後も開催しますので、是非ご活用ください。

(伊藤 貴浩)

